

【研究費区分】：ミニ研究環

【研究代表者所属】：人文科学研究科

【研究代表者氏名】：西山雄二

【研究代表者氏名フリガナ】：ニシヤマユウジ

【研究代表者職】：准教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

Jocelyn Groisard 首都大学東京・人文科学研究科・准教授

Karim Charredib カリム・シャハディーブ レンヌ第二大学・造形芸術学部・准教授

高橋博美 レンヌ第二大学・日本語講師

Brigitte Prost ブリジット・プロ レンヌ第二大学・造形芸術学部・准教授

八木悠允 レンヌ国立科学技術大学・非常勤講師

須藤健太郎 首都大学東京・人文科学研究科・助教

【研究環組織名】：なし

【研究環 HP（*本研究環組織の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

・なし

【研究環の活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（600～800 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

2018年12月、首都大学東京（南大沢）にてセミナー「枠組みの蘇生—現代日本映画におけるゾンビの形象」を開催。レンヌ第二大学からカリム・シャハディーブ氏を招聘し、発表していただいた。コメント役に本学・助教の須藤健太郎と非常勤講師の正清健介が参加した。ゾンビ映画の歴史と表現をめぐって、文明論的な観点からその意義が解き明かされた。

2019年3月、フランス・レンヌ第二大学と国立東洋言語文化大学（イナルコ）にて、本学准教授・西山雄二が講演会「神々に捧げられた笑い 日本における烏滸の者の記憶」を実施した。助教・須藤健太郎が、「ゾーンのフォトジェニックな変容 タルコフスキー、マルケル、鈴木卓爾」について講演を行なった。

本研究では、日仏比較文化に関する共同研究を実施し、フランスとの研究交流を促進することで、国際的な拠点形成の第一歩を達成することができた。本研究は単発的な学術交流に終わるものではなく、中長期的な交流を見据えた上で、レンヌ第二大学およびイナルコとの研究交流の充実、都市外交人材育成基金の活用拡充に向けた実効的な波及効果を及ぼす。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・西山雄二、発表“The Intercultural Translation between Chôra and “Ma”: Derrida’s visits to Japan”, Derrida Today 2018, Concordia University, Montreal, 23-26 June 2018.

主催・発表 « Les enjeux politico-philosophiques du séminaire La peine de mort », Journée d’étude : Jacques Derrida, La peine de mort, INALCO, 27 juin 2018.

・西山雄二、発表« Le propre de l’homme et la déconstruction de la mort : autour de Jacques Derrida,

Séminaire : La peine de mort », XXVIIe Université d'été de l'Association Jan Hus « Homme nouveau, homme ancien : autour des figures émergentes et disparaissantes de l'humain », Banská Štiavnica (Slovaquie), 1-6 juillet 2018.

・西山雄二、発表「フランスの大学改革と哲学教育」、哲学プラクティス学会第1回大会、2018年8月26日。

・西山雄二、招待発表「フランスの大学改革と68年5月の記憶——人文学におけるアーカイヴの使命」、一橋大学、第4回先端課題研究18、2018年9月19日。

・西山雄二、招待発表« Thought and Representation of Nuclear Energy in Japan: Comparative Analysis of the Films Godzilla (1954) and Shin Godzilla (2016) », International Symposium “Nuclear (power), a Scientific and Philosophical Question from 1945 to Today”, Sapienza University of Rome, 24 September 2018.

・西山雄二、発表 « Le rire consacré aux dieux : la mémoire de l'idiot au Japon », Université Rennes 2, 22 mars 2019 / INALCO, 25 mars 2019.

・須藤健太郎、コメント：カリム・シャレディブ講演会「枠組みの蘇生—現代日本映画におけるゾンビの形象」、首都大学東京、2018年12月19日。

・須藤健太郎、「「不純な映画のために」の仮想敵」、アンドレ・バザン生誕100周年記念イベント「映画とアダプテーション—アンドレ・バザンを中心に」、山形大学、2018年12月20日。

・須藤健太郎、「La transformation photogénique de la Zone : Tarkovski, Marker et Suzuki Takuji », Université Rennes 2, 22 mars 2018.

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・西山雄二、*DERRIDA – LEVINAS. An Alliance Awaiting the Political. Une alliance en attente de politique*, Edited by Orietta Ombrosi and Raphael Zagury-Orly, Mimesis, 2019. Yuji Nishiyama « Politiques du mensonge chez Derrida et Levinas », pp. 179-191.

・西山雄二「パリ、五月革命の残光」、『週刊読書人』2018年6月15日（第3243号）／6月22日（第3244号）／6月29日（第3245号）／7月6日（第3246号）、2018年5-6月。

・西山雄二 « Hantologie de Fukushima », *TERRAIN*, octobre 2018.

・西山雄二「68年5月から遠く離れて」、『人文学報』515-15、2019年、5-24頁。

・須藤健太郎「マヤは誰を演じているのか?」、『ユリイカ』9月号（特集*濱口竜介）、第50巻第12号、2018年9月、65-72頁。

・須藤健太郎「映画は疑問符のなかに—「不純な映画のために」再読序説」、『アンドレ・バザン研究』3号、2019年3月。

【学会会議開催実績報告】

・カリム・シャレディブ（レンヌ第2大学准教授）、講演会「枠組みの蘇生：現代日本映画におけるゾンビの形象」、コメント：正清健介、須藤健太郎／司会：西山雄二、首都大学東京、2018年12月19日

・西山雄二、発表 « Le rire consacré aux dieux : la mémoire de l'idiot au Japon », Université Rennes 2, 22 mars 2019 / INALCO, 25 mars 2019.

・須藤健太郎、「La transformation photogénique de la Zone : Tarkovski, Marker et Suzuki Takuji », Université Rennes 2, 22 mars 2018.

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

- ・平成 28-30 年度科研費 国際共同研究加速基金（国際共同研究加速強化）「啓蒙期から現代に至るカタストロフィの思想と表象に関する総合的研究」
- ・基盤 C に応募、不採択

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・なし

【受賞等】

- ・なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・なし

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

- ・なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名,所属,金額 (円))

- ・西山雄二 (研究代表者)、人文科学研究科、800 千円